



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

どれだけ原爆がおそろしいか、改めて考える事が
できました。^{前まで}広島^{まで}の原爆ドームを見て、その時の
様子なんて思った事などありませんでした。

人々がとても苦しんでいる様子を真剣に
考えて見れば、心が痛くなりました。

また、資料から原爆のおそろしさを学べた
ので、友達などに原爆について教えてあげよう
と思います。知らない事やおどろいた事、

たったの2時間でいろいろな気持ち、心の動きが
たくさんわき出てきました。

難しい説明や難しい言葉などもあったけれど、

その難しさは原爆を生きた人だからこそ分かるんだと

思いました。今日、習った事はこれからも、絶対忘れる

事はできません。池田さんもその現場にいたのは

とてもうらかったと思います。ですが、1つの命

だけでも助けられたのは、私も感動しました。

人の命を救うというのは、とてもすてきな事だ
と思います。

いつかは原爆を体験した人はいなくなってしまう



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

1/6

本当にその場にいたかと思うほどの音読
だった。その場の現状、人々の状態がどん
なに悲惨であり、心をきずつけ目をそむけた
くなるほどのありさまは想像もできない。人が
一瞬で炭化し粉々になるなんて考えもつかない。

「リトル・ボーイ」は、爆発して、広島の世界を灰色
にほんの数分秒で染めてしまっても、また、60のバ
ブーしか出していない。ならあの時フルパワー
の爆発だったら広島は、どうなっていたか。
池田義三さんも死んでしまい、60倍ほどの大
地が「灰色」の世界に変わってしまうかもしれな
いと思うとぞとす。自分の上で爆弾が
爆発し、半径100mもの大きさの熱の塊が
上空にあたら恐いなあと思う。衝撃波が
毎秒500m進むのはとても強い力なん
だと思う。

人を殺すため、日本を傷つけるために原爆を投下し、
命を消すなんてひどいと思う。してはならなくて、今後も自分達の
つごうを優先させるのは許されないう。先の子供達に伝えていかな



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

この間の「原爆先生」の特別授業はありがとうございました。90分間、とても詳しい説明でした。ぼくは授業を受講する前は、「原爆の恐ろしさ」というものを知りませんでした。でも、説明や画像を通して、戦争の恐ろしさをしっかりと感じる事が出来ました。でも実際は「ぼくの想像をよるかに絶するはず」と思い、考えるだけで怖くてたまりません。でもその恐ろしさを、知ることが出来たことは、いいことだと思っています。理由は、将来ぼくたちが戦争を行なわないうためだと思っています。また、原爆による力(熱線、衝撃波、放射)や爆発時の表面温度を知りおとろきました。身近に例えると「スカイツリーに太陽以上の温度をもつものがある」と考えると、改めてその破壊力を感じられます。今回の授業は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、この話を聞いて衝撃をうけました。原爆がどれほどおそろしいものなのかという事をしれてよかったです。

原爆で被爆した人々はまた、いまたに病に苦しむと

いう。そしてこの原爆で死者が14万人で被爆者

が24万人とゆうことに本当に衝撃をうけています。

ぼくはやはり原爆をうかってはいけな
いものではないかと思ひます。

こんごの未来ははして原爆かない平和な

世界がうくっていけたらいいなと

思ひます。ですが今世界の多くの国で

広島に投下されたリトルボーイよりもいかに

でかい核爆弾を世界がもてること

にうきかなしいなと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

とても良い授業をありがとうございました。社会の教科書でも、ほんの2ページしか書かれていないものが、90分間も勉強できたことをとてもうれしく思っています。そして、本当に原爆の威力を経験された方の日記まで紹介していただいたことが、一番の学びになりました。どのくらいの威力だったか、広島そのときの状況、たくさんの方が実際に見ているかのように想像ができました。とても悲しい事実でした。「悲しい」ところじゃすまないと思いました。また、リトルボーイに入っていたウランの60kgのうち、1kgが核分裂を起こしただけで、広島県が破壊されてしまったのですから、60kgの全てが核分裂を起こしていたら、と思うと、とても恐ろしいです。このような悲劇が二度と起こらないことを願っています。願うだけでなく起こらないように、今が自分がやれることをやるべきだと考えました。なので、原爆資料館などへ行って、被害をもっとくわしく知りたいと思っています。この特別授業でくわしく知りたいことがたくさんありましたが、時間という限りがあったのが残念に思っています。しかし、たくさん学びたいと思いがあつたので、良かったと思っています。本当に、どうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、この授業を受けて、戦争をしていて、その中で苦しんでいる人たちのことがよくわかり、とても、悲しい現象だっと思いました。私は、ちゃんと体験したことがないので、空から爆弾が落ちてくるなんて考えられません。当時の人々は、それだけ怖い思いをしたのだと思います。私が、怖いほど強く感じたのは、アメリカが落とされた爆弾です。爆発して、その表面温度が、太陽の表面温度より高いということがわかり、地球に太陽が、おちてきたような感じだと思いました。そして、その時、人々は、たえきれないほどのあつさだっと思います。しかも夏だったから、まけいにあついから、七くなる人も多かったのかなと感じました。そんな中、原爆先生の父でもある私は、何とも言えない人々を、よくはこぶがどかできたなと思い、そういう人が、助けになるなと思いました。私は、今まで、戦争をして、日本の広島や長崎に、原爆が落とされましたが、そのじょうきょうが、よくわかっていほひんでしたが、今日、それがとても悲惨なことがわかりました。これから、このことを伝え続けなければならぬ事なので、少しでも人に伝えたいです。今日は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はまず先生から渡された資料で見た、
題名の7000℃の少年と見たとき、え、と思
いました。7000℃、てもう死んでいるんじゃない
か、とか色々なことを考えました。そして3.4時
間目池田真徳さんに考えていただきました。
僕がとてもしらなかつたのは、「リトルボーイ」です。家
でも考えたのですが、わからなかつたので、知らな
かつたです。そしてこの「リトルボーイ」でわかつたこ
とは、池田さんが言うてくれた。後ろに「はねが
あて、回転をとめ目的地に落とせると言うこと
がわかりました。あとは、原子爆弾を落とす時の
条件をはじめてしりました。①直径5kmを超える。
②平野であること。③望襲かなくた。僕はそれを
聞いてとてもしらなかつた。②の平野であること
は、平野に近しい人が死んでしまふからです。とてもしら
なかつた。そして、わかりやすく、資料も出してく
れてありがとうございます。この話を聞い
たら、命の大切さがわが、てきました。ありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、この授業で、たくさんを知りました。この話はうそなんじゃないかと、と中思いました。でも、聞いているうちに、自分の中で少し想像することができました。けれど、本物はこれよりこわく、ひどく、残こなくなっちゃうなあ、とも思いました。こんなことを考えながら、教室へもどると、みんな、真けんな顔をしていました。ぼくは、以て、今、もしも、原子爆弾が、ぶっってきたら...と考えましたが、その時はもうお手上げだと思いました。今回の授業で、原爆についてぼくらは知る事ができました。が、戦争を知らず、原子爆弾がおちたことを知っていても、他は知らない、そんな人がたくさんいることも、よく分かって、自分達が少しくわしく知ったからこそよけいこおくなりました。他の人に教える機会があれば、その時、どのように説明しおなごと思った授業でした。色々なことを知れて良かったです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/6

私は今回の授業を受けて、原爆がどれだけ恐ろしく、どれだけの人の命を奮うのかを学びました。池田義三さんが被爆者のために命をかけて、生きていく姿が聞いていて想像できました。その中で、私は原爆に立ち向かい、心強く、今できることは何か考えて行動する池田さんはすごいなと感じました。なぜ、あの時天候が悪くならなかったのだろうか。なにも罪のない人の命が、ゴルフボール一つ分の大きさの閃光で何人も一瞬にしてなくなつたことを思い出すと悲しくなりました。最後の池田さんのビデオを見た時の私の心は池田さんの涙でいっぱいになり、真けんに原爆の事に向き合うことの大切さを知りました。今、日本はとも平和です。でも、その過去には、悲惨な出来事があったことは絶対に忘れません。そのために命をかけて戦った人がいるということも忘れません。絶対に、忘れません。

今を生きているが、そのときも、しずかにのびにすげに
おいてから。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/6

原爆先生 池田様へ

私は、もちろん戦争を経験していませんが、先生の授業で、戦争…原爆、そのおそろしさ、被爆者やその死者の苦しみ、原爆についての様々な事柄を知ることができました。とくに、原爆の死亡率は、40%という被爆者の助けを求める声や顔を想像するとふるえが止まらなくなりました。

B29 エノラゲのおとした、5tもの、リトルボイという原爆のことや、熱線、衝撃波、放射線という原爆のこわい所も私は想像するのが大変でした。そして、私が一番心に残ったのは、最後に観た、義三さんの言葉でした。その時の経験者であられたので、と中、涙を流して、当時の、悲しみに包まれた状態を、さらに感じました。私は、原爆を経験していませんが、今の身近な争いはすぐ小さな物だと感じたい。今回習った事柄を、心にいつもおいておきたいと思います。貴重な特別授業をしていただき、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、90分間の間、私たちに戦争を教
えて下さり、本当にありがとうございました。
私は今回、改めて戦争のおそろしさを知
りました。でも今回のおそろしさは、今まで
とは全然ちがって、じっさい、こんなに、こわい
んだな、とか、毎日がきょうふなんだな、
と実感しました。人間なのに、人間じゃな
いということ、私は想像が付きませ
ん。人間が、あつまぎて、川の水が蒸発す
るということは、火よりあつくなっているとい
うことなんですね。ばくだんは、そんなに
おそろしいとは、知りませんでした。人間が
くさる事があるなんて考えるだけでこわ
いんです。でも、それを体験して、見て、さゆって
…。江田義三さんは、とても見たくなく、こ
わい体験をしたんだな、と思います。でも、そ
の人たちがいたからこそ、今があるのだと思
います。その人たちに、感謝します。今日は、本
当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/6

私は、あつ原爆の事を知らなかったのので、
勉強になりました。

想像以上の怖さにびっくりしました。

一番印象の強かったものは、広島に落ちた

「リトルボーイ」です。こんならへも重く大きい

原爆が空から降って来たら逃げること

できなくなってしまうと思ったし一瞬で人が

いなくなるほどの衝撃波だなんて聞いて

いるだけでもふるえてしまいました。

こんなに一瞬で人が何十万人も亡くなって

しまうなんてとても悲しくなりました。

被爆者のやけどの痛み それを助ける兵隊

その場に居るだけでも聞いてるだけでも

心が痛みぞっとしました。

これからは、原爆にも目を向けて行きます。

授業で感じた広島・長崎の原爆の怖さ

痛み 苦しみ そして学びを社会の授業で生か

て行きたいです。

原爆先生の特別授業、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/6

〜原爆先生、池田貞徳さんへ〜
 この授業で、とても戦争は、おそろしく、怖い物だと改めて感じました。
 私は長崎県の原爆資料館に行き、見た物は、とても、凄まじい写真や、遺品、学校のくすれた階段や、その時間で止まった時計などもありました。ほかに、外国人や、助かった日本人などのような言ひビデオも、あったり、爆弾の中にくまれているものを見たりしました。とても、おそろしかったです。
 池田さんのお父さんが体験した事などの話もとても、生々しい、話で、怖かったです。中でも一番怖かったのは、死体をおぶろうとすると、皮がはがれ、肉が見えちゃう、話がとても怖かったです。
 この授業は、戦争の時何が起きたのかも、くわしく知れたので、とても、良い授業だと思いました。この貴重な話をして下さって本当にありがとうございました。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は授業を受け、想像を絶する広島^の被爆者の状態、被害の様子に、正直、腑へみました。

私は経験してませんか？ 7000℃の暑さは、真夏の東京・大阪よりも、もっと火焼くて私たちが耐えられないと思います。

一瞬で死んでしまったり、一瞬で炭になってしまったり、するような爆弾を造った、アメリカも、ずいぶんいいけど、私は残酷だと思いました。

熱線、衝撃波、放射線この3つの中で私が話を聞いて、恐^{おそ}いと思^{おも}ったのは、熱線と衝撃波です。放射線も怖いですが、体内の水分が一瞬にして蒸発してしまう。熱線、衝撃波は、想像をしてもイメージがつかず、実際に経験^{けんけん}なくては、被害の事がよくわかりません。

皮膚が落ちる所や、肉がスルッと落ちる瞬間を想像するだけで、ゾッとします。そんな状態の人々を背負って、運^{はこ}ぶという作業をやるのは、気が引けます。でも、助けたいという気持ちは同じです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日は、広島ひろしまの原子爆弾げんじばくだんについて
お話していただき、ありがとうございます
でした。

私は、一度原爆ドームを見に、広島へ行っ
たことがあり、資料館へ行ったのですが、
それよりもくわしいことを教えてくださって
戦争せんそうのこわさや次の世代へ受けわたす
大切さを学びました。とくに、義三さん
の実体験のものは、「こんなことこの日本
にあったの？」と思うようにでした。

私が大人になったら、原爆先生のような
戦争せんそうのことを子供たちに教える仕事もや
してみたいと思いました。また、私に子供
がいたらまた原爆のことをきちんと教えて
あげたいと思いました。

今日教えていただいたことをこれから
の人生へいかしていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/5

ぼくは、今日の原爆先生の特別授業を受講して、広島ひろしまの原爆について、少ししか知らなかったけど、今回の授業で原爆のことが分かりました。

池田先生のお父さんは、本当に悲しい思いをしていたというのが、池田先生の話で分かりました。

原爆はすごい、いかに、すごい熱さで3000°という高熱で、自分がもしまきこまれて、黒こげになったらと思うと、すごく怖いと思いました。

ぼくは、この授業で、原爆で亡くなった人たち、家族を失った人たちが、かわいそうだなと思いました。

もう二度と戦争は起らないでほしいと思いました。

貴重な話を聞かせてくれて、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日はぼくたちに原爆の事を教えてくれて、
ありがとうございました。
もともと原爆はこわい事だと知っていたけれど
さらにこわい事がわかりました。
ぼくが一番びっくりしたのがウランが1kg
で広島が焼かれてしまうことでした。
でも、本当は60kgも入っていたら、もし全ての
ウランがねんぷうしたと日本は本州全てが焼
け野原になっていたのかなーと思いました。
そして世界のほとんどの国がウランを持っている
事にびっくりしました。なのでこれから戦争
が起きたら世界の技術も上がったので地球
その物がなくなってしまうなーと思いました。
なので戦争は一生起きてほしくないです
少しこわいと感じた事もあったけれど今日は
たくさん話してくれたり、ビデオを見させてたり
してくれてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生へ

私は、授業が始まる前まで、原爆の
ことについては、あまり興味があ
りませんでした。しかし、今日の
授業を受けて、原爆のこ
ろさを、改めて感^じることが
できました。また、当時の様
子をもっとくわしく、知りた
いと思いました。今回は、話
を聞くだけで、その時の人
々を実際には見ていません
が、私だったら、すぐに逃
げてしまおうと思うのに、池
田義三さんは、それにた
え続け、9日間も救助にあ
たっていただけで、私では考
えられないなと思いました。
私も、原爆ドームを実際
に見てみたいし、資料館
にも行ってみたいと思
います。そして、後世
にも、そのころさをし
っかり伝え、今後、全
く原爆投下などか
ない世界に
なるといいと思
います。今回は、私
たちに原爆の
ことについて
教えていただき、
本当にありが
たかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日は来てくださりまことに
ありがとうございました。
ぼくがととても印象に残った
のが広島にある原爆の
資料館に当時と同じ感じの
人形がおいてあるというの
に驚きました。最後の映像を
見て実際に広島で活動か
っていた人としていない人
が原爆資料館で受ける
ショックの差というものが
すごいと感じました。

これから体調に気を付けて
この活動を続けてください。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日はありがとうございました。90分という長いようで短い時間ではありましたが、その時間で得た学びはたくさんあります。お話を聞いている時も、人間というのは何とむごく、おろかなのたろうと思いました。私は「死の恐しさ」というものを感じたことはありません、戦争とはどういうものか、体験したことはありません。しかし、先日のお話で、「生と死」が少しだけわかったような気がします。意思のちがひ、それだけでうばえる命など、つもない。そして人の命を実験としてうばった原爆。許しかねない事ですが、それは勝手な考え。実の体験者が少なくなっている今、身近な存在の方からその貴重なお話を聞くことができ、とても幸運に思っております。普通に生きられるのが当たり前の今、一瞬にして消えた命のかけや、もはや見るにも見れない人の姿などのお話だけでこわくなってしまう。今、考えるだけでも鳥はたかたってしまう、今、生きているという幸せを改めて感じる事ができました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、今回の特別授業を受講してとてもたくさん原爆のことを知り悲しい気持ちになりました。

前にぼくははだしのゲンという原爆のことをかいたマンガ本を読んでいたのですが原爆のおそろしさやあだけてみんな状況だったかぐらりは知っているつもりでした。でも原爆先生の特別授業を受講して原爆を体験した人の話はマンガ本にかかっている以上に悲しくておそろしくて胸が痛くなる話をしていました。

この今は平和な時代だけれど昔はこんな時代があったというのを平和な時代に生まれた人は昔のような時代があったことを忘れてはいけなうと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

この間は、原爆先生のことを教えてくださり、本当にありがとうございました。「リトルボーイ」の事も教えていただきました。とてもおそろしいと印象に残りましたが、良い勉強になりました。お父さんの事まことに、おかげみ申し上げます。原爆を体験した人には、原爆資料館の物の見方が違い、と「ねた」け悲さんだ。たか、そのような事がとても伝承てきました。原爆先生を学べて本当に良かったです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 6

私は、この授業を通して、戦争の怖ろしさやおそろしさを改めて、知りました。

原爆が投下された時も、1日前までは私たちと同じような暮らしをしていたのに、次の日にはもういないというのは、すごくかわいそうだし、すごくおそろしい事だと思いました。それに、爆弾が投下される場所の候補に、今住んでいる関東の横浜がはいっていたので、びっくりしました。もし横浜に爆弾が投下されていたら、今のようなきれいな街ではなん、どこかにそのつめ後が残っていたのかもしれません。でも、別の場所では投下されていて、そのせいで、何十万人の命がせくなっているのです。この戦争はすごく怖いと思いました。そしてもう、このような事は、起さずほしくないと、授業を通して思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

おいそがしい中、原爆について教えていただきありがとうございました。ございました。

ぼくは、池田さんの話を聞いてゾッとする場面がたくさんありました。それは「人が人の姿でなかった。皮膚があたりとむけてしまい肉まで見えていた」ということにビックリしました。そしてウランが1kgで24万人もの人が被害にあったということも初めて知りました。さらには、爆発の熱線で人が一瞬にして消えてしまった画像を見て、人間があんな風になるんだと思いました。

このようなことを学びました。おそらくぼくが想像しているよりも、もっととひさんな状態だったと思います。しかし、どのようなことがあったのか分かった

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

ので良かったです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回の特別授業で、原爆の恐ろしさを知りました。
タイトルの「7000℃の少年」とはなにかと思いました。しかし、
お話を聞いていくうちに、広島に落とされた原爆は「リトル
ボーイ」(少年)という名前です。落ちるときは7000℃にもなることを
知り、「7000℃の少年」は原子爆弾のことだとわかりました。

話の途中で、「爆心地に近いところでは、人が一瞬にして
消えたり、影だけが残った」と聞いたときには、ぞろぞろとしました。
それから、道にひびかたたかれてずるずるになた人がいたり、
死体が転がったり、建物が粉々になたりしていたというの
を聞いて、そんな風になることを避けたらと思いました。

終わりのほうでは、リトルボーイの中のウラニについて聞き
ました。ウラニは60kg積まれていて、少しだけでも強い破砕力
があることを知り、1kgしか燃えなかったことを聞くと、1kgで
広島の町をこんなにくちゃくちゃにしてしまったのだから、60kg
すべて燃えなかったことはまた良かったと思いました。

私は、今日、これ以外にもたくさんのお話を学びました。
それらのことから、もう2度とこんなことは起こすべきではないと
感じました。そのためにも、この恐ろしい事実を語り継ぐことが必
要だと思います。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原子爆弾の恐ろしさ、性質、そしてその事によって被害を受けた人々のことが少しかもしれないけれど、わかってよかったです。

特に思い出したのは、トラックに乗せようとした人の手の皮がはかれてしまうところです。その時の池田真徳さんのお父さんの、池田義三さんの気持ちを考えると、とても悲しくなっています。そして原子爆弾の表面温度が太陽の表面温度より約1000℃も熱いということにもおどろきました。

そしてアメリカ軍は、広島に大打撃をあたえたのに、京都には人間にとって大切な文化財があるから原子爆弾をおとすのをやめたという理由に疑問が残りました。広島にも文化財はあるはずだからです。その理由を知ったら、広島の人々は悲しく思います。

今回、原爆のことを知れてとてもよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、転校してきたばかりで、原爆先生の授業は、初めてでした。今日、池田眞徳さんのお父さん、池田義三さんが体験した、広島原爆について話をしてくださいました。

私は原爆先生の話を聞いた感想を一言でいうと、「とにかく残さくな」と思いました。原子爆弾をヒロシマとナガサキの2か所にも投下するなんてとてもこわいなと思いました。また、原子爆弾は、すごい力を持った、こわいものだということが思い知らされました。

また、話の中で出てきた熱線というものには、すごくおどろきました。太陽よりも1000度も上の熱さなんて、「広島原爆で苦しんだ人々は、とてもかわいそうだな」と思いました。

原爆先生の話を聞いて、より原子爆弾のこわさが分かりました。これから先もずっとこのようなことは起きないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の、7000℃の少年や広島の日間を聞いて前より深く原子爆弾はこわくてとても深い物がある事かわかりました。

そして、この原子爆弾で亡くなった人や被爆者がどんな状態だったのかわかったし、さらに、軍隊の人はどうしていたのか兵隊にしかわからぬ死体を運ぶ時の気持ちなどがわかってとても良い体験になったと思いました。

さらに、原爆の表面温度太陽より高い7000℃で中心は100万℃で直径200mの事や広島に投下された原爆の「リトルボーイ」がどのように落ちていったかなど、原爆の細かい所まで開けてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

「7000℃の少年」。私はそれを見たとき、何がなんたか、まったく分かりませんでした。それを知るためにも、しっかりと聞かなくてはと思い、原爆先生の話しを聞きはじめました。私か心に残った原爆先生の話しは、二つあります。一つ目は、候補になつた都市についてです。一番良いとされていた京都は文化財を燃やさないためなどの理由でやめることになりました。ですがそれならば、他の所も、人々が大切に思っている所があるのだから、原子爆弾を落とすというのはとてもひどいことかと思ひました。そして二つ目は、広島県人の原子爆弾投下です。原爆先生のお父さんは、広島島の爆心地の所へ行つたそうです。そこには助けを求める人間のような男は区別がつかない、大やけどをしてしまつた人々かいたそうです。たくさん死体がありかまな、っている。もし私だったら、その場に居ることかできなくなつてしまひそうです。そして最後に私は、「7000℃の少年」という意味が分かりました。それは、原爆「リトルボーイ」です。もうこ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

のようなことかおこらないようにして欲しいです。そして、かていになつてしまつた方、死者を探した方を、たかえたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の特別授業を受講して、改めて原子爆弾の恐ろしさかわかりました。

ただ教科書や本を読んだだけではおぼろげで映像や実際に体験がわかることにより、意味を強く感じることができました。

それに、実際に絶対に感じることはできない五感のことも話されていて、とてもわかりやすい話でした。

他にも、学校の授業では知れない知識も沢山あって、今後どこかで活かせるようなこともたくさんありました。

さらに、原子爆弾で起こったことを身近にあるものに例えていてとてもわかりやすかったです。

原爆先生の特別授業をありがとうございました、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業ありがとうございました。
ドラム管の重さがかかったら原爆にやられ
たところでした。なにがなんでもかかからない
ぐらいの熱。いざと思いました。あたり
に見える牛物が焼きこげているか
ない気持ちになりました。みんな焼けこ
げている人間だけ人間みたいい
ない人間が歩いているのかとしてもあり
ないです。

原爆が太陽の熱さよりも、(熱い)
原爆がおっこちてき中心がな
んと100万℃もあってひろく
りました。

どうやって100万℃のあつさを爆だん
にするのか不思議に思いました。
今原爆が落ちたとしてもこわい
です。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回このような特別授業が聞けてとても
良かったです。広島での戦争はあまり知らな
かったが、この授業を通して、初めて知った
事などがありました。原爆先生の父、池田義三
さんは、本当に戦争を経験していて、その事につ
いて、原爆先生から話が聞けたので、ま
ちよくな時間でした。画像、動画、話しを聞いた
ただだけでも「ゾッ」としたので、その現場に
いた池田義三さんはもっと「ゾッ」としたと思
うし、恐怖と不安の毎日だったろうなと思
いました。最後の方の池田義三さんの動画は、
話したばかり涙を流してしまっていたので、
この事は一生忘れられない出来事だったんか
と思いました。今回の題名『7000℃の少年』の
理由が、原爆先生の授業がうれしかった
理由が、原爆先生の説明がとても分かりま
すかったのでとても理解できました。今回は、
原爆先生として、授業を教えたばかり
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/6

始まった瞬間、何とも言えない空気が視ちよう覚室に流れました。

「7000°の少年」このタイトルを見た時、私は頭が「ハテナ」でうめつくされるほど不思議に思いました。なぜなら、「7000°の少年」なんているはずもないですから。不思議に思いながらも授業ははじまりました。池田先生がお話しされた内容はとても生々しく、想像もできませんでした。いや、想像したくなかったのかもしれません。この時私の気持ちの3分の1は耳をふさぎたいという思いでした。けれど、あの戦争を2度としない為にもこの体験はしていなくても聞いた話は、次の世代へと語り継がなければいけないという責任を感じ、最後まで、真険に聞くことができました。

そして、冒頭に話した「7000°の少年」は、表面温度が7000°の原子爆弾「リトル・ボーイ」日本語に直せばすると「少年」という意味からこのタイトルが付いたのだ。と授業が終わった後、「ハテナ」が「ビックリ」に変わりました。

終戦から69年たった今、語り継がなければいけない体験を現代に深く刻み、1人1人が戦争の悲惨さを理解しなければいけないのだ。と強く思いました。

原爆先生、今日はありがとうございました。本当に有り難うございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今回原爆先生の授業でお話をきいたり当時の写真を見たりして原爆というものがおそろくあてはまらないことだと改めて思いました。原子爆弾の威力がとてつもないということ原爆下広島市民の5人1人が亡くなってしまうことなど本当に今まで知らなかったことを知ることができました。特に先生のお話の中で被爆者の方のことをきいて胸が痛くなりました。やけどをした手にふれるだけでも皮ふかはおかれおなごまひまはまひまふんとということが当時の姿だということを知り被爆された方が本当にかわいそうという言葉では言い表せないくらいかわいそうになりました。最後のお話で先生のお父さんの義三さんがやけどで苦しむ女性の復元を見た時に言た「きれいすぎる」という言葉はまとその女性が義三さんが当時見ていた被爆者に比べてやけどもひどくなくなたがらだと思いました。私はその女性の復元のたがれた手が顔をしかめしてしまうほどおそろしいと思。たのに実際はそれよりもと悲惨た。たんだとわかり



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/6

。私は、原爆先生の授業を通して、
色々な事がわかりました。一つは、
それだけのけがをしたか、です。私が
思っていた原爆後は、それほどすごい
事ではないかと思っていました。しかし、実
際はひふかはかれ助けるとよりはかれ
つらい思いをしていた事がわかりました。
池田義三さんは実際にその全てをみて
今では再現できないほどだと言っていました。
その他にも、放射線のせいで、亡くなった人
も数多くいる事がわかりました。私が生
きていない時代だ、だけれどこんなに
も深い話があるとはおもいませんでした。
この時代にも私ぐらいの子が何人も帰らぬ
人となっているでしょう。私は、さらに、原爆に
ついて調べ、次の世代にもこの事を伝え
ていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、おいそがしい中来ていただきありがとうございます。私は、原爆先生の話を聞いていろんな話に衝撃を感じました。

それは、戦争が起きて皮膚がめくれたり、やけどをしたりとひどい感じになったのですごくこわかったです。学んだ事は、たくさんあります。その中でも特に学んだ事は、三つあります。

一つ目は、戦争で亡くなってしまった人の数です。

広島の人口は、35万人で被爆者数は、24万人でその中で半分の人々が亡くなってしまいました。けれど、兵士さんのおかげで24万人中14万人の命が助かったのおかげだと思いました。

二つ目は、落ちてきた爆弾の熱さです。

私は、最初は熱さは、1000℃と~3000℃くらいかたひと思、っていたけれど7000℃だったのですごくびっくりしました。

最後三つ目は、池田義三さんの話です。

池田義三さんは、戦争の話をしてくれてすごく詳しいのに話してくださり本当に良かったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、今回原爆先生の授業を受け、とても大きな衝撃を受けました。

原爆がどれ位の威力だったのか、どれほどの被害に遭った人がどの位いたのか、初めて知りました。私は今までそのような事を聞いた事はありませんでしたが、あまりあいまいで、そんな事があったのか、という認識しかしていませんでした。しかし、今日、それはとても残酷で、悲しい事だと知りました。平成生まれの私には、何も知るよしもなかったものかもしれませんが、ですが今回このような事を聞かせていただき、日本にはこのような時代があった、という事を深く心に刻みこまれました。私たちは、もう二度と事を起こさない、起こさせないため、後世にも、きちんと伝えていかなければいけないな、と思いました。

燃える程熱く、苦しむ人達を助けられぬ悲しさ、くやしき、このような体験をした人がいて、このような事があった。私は今回聞いた事を、これからも忘れないように、幸せをかみしめて生きていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/6

今日ぼくは原子爆弾投下者降で一番効果があるのが京都だということを知りました。リトルボーイは自分で爆心土世に向かえるのはすごいと思いましたが、死亡率が40%という高い数字でびっくりしました。池田義三さんが見に行った博物館で、きれいすぎると言っていたことにびっくりして、それは原子爆弾はきれい物だと思いました。トラックの荷台に乗ろうとして兵隊さん助けて助けてと言っていて助けようとするとき、手が皮がずるとぬけてしまふと聞いた時、すごい熱さが一瞬にしてきていた。熱いなど言てられないほど、すごい熱で皮がずるとおけてしまふほどになつたんだと思いました。風で10mくらいとがってすごいなと思いました。裸皮爆着が24万人もいるとは知りませんでした。なんで九州あたりばかり原子爆弾が投下されたのが不思議だなと思いました。

助けて助けてと言ふ人々たちのことを思い出した義三さんは泣いてしまった。すごい助けられずに悔いがかつていているのだから、と思いました。何日も死体を見ていたとなれてこわくなくなつたという所で人間はともきれいな生き物だなあと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生、本日はどうもありがとうございました。私のひいおじいちゃんも広島で通信隊をしていました。私が原爆のことを聞いたとき、私は小学五年生でした。難しい話やすごくくわしい話しほしてもらえませんでした。なので今回の授業でたくさんさんの難しい話からアメリカのねらいなどのたくさんすることをきいて、より、自分の考えが深まりました。そして私たちには、そのわすれられないきおくを10年後も20年後も次の世代へ、語り継ぐ義務があると思います。私は、日本のために力をつくしてくれた兵隊さん、関係のなかた、被爆者のことを胸に、次の世代につなげていくということをしていきたいです。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

本日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の授業を受講して、私は昔の戦争がこんなにさうだった事をよく知ることができました。特に、さうしてかわいそうだったと思った所は、トラックに上りつとして必死だった人の手を取ったとたん皮が「ズルンッ」とはかれて転がり落ちた所です。他にも、小さい男の子が必死に服を引、張って17~18才ぐらいのお姉さんを助けたいと願って助けを求めた所が感動しました。交代でお姉さんをあげてあげた所もすごく頼もしいと思いました。広島に落ちたリトルボーイがこんなにもたくさんの人を死なせてしまったことかとてもかわいそうでも川に飛びこんだたくさんの人たちも助からなくて水が半分ぐらいに落ちてしまった所かとてもびっくりしました。この授業を受けて、昔の戦争のことをたくさん知れました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を
受けた。あの瞬間の恐怖にか
おどろきました。

広島に投下された原爆「リトルボーイ」
の威力は、思えば、遠くにいる人たちが
想像するよりもずっと強力で、飛ばされ
ていて何も知らずに死んでしまった人達は、
とてもかわいそうだと思います。

原爆先生の祖父さんの池田義二さんは、
原爆の被害は、なく死んでしまった人たちの
回復作業として、9日間にもあたり仕事をして
原爆先生は、とても偉い人だと思いました。
死んでしまった苦勞されたと思いました。
ぼくがもし池田さんのような事をしていたら
たえきれなかつたと思います。

今回の授業で、原爆の恐ろしいこと、
学ばせてくれてよかった。

これからこのことを多くの人に伝えたいと思
いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を聞けてとてもうれしかったです。話を聞いてみると、原爆で人がふき飛ばされたり、全身やけどをおった人などとてもこわいです。私の祖父から聞いた話ですが、祖父は長崎県に住んでいて、昭和20年8月9日に、祖父のお父さん、お母さんが原爆を見て、それがとても大きな光のいなびかりのような物だったそうです。祖父の家は原爆地から120kmほどはなれていて、被害をあまり受けなかったそうです。祖父が小学生になったころに原爆から、逃げてきた子供たちがよく、「一緒に遊ぼうよ」と話しかけてたそうですが、全身にやけどをおって、皮膚がめくれている人が多くてこわかったそうです。そして私はこの祖父の話、そして本日わざわざ学校まで来てお話ししていたことから、原爆を受けた人々がどんなに苦しかったことがとてもよくわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生の授業を聞き、原爆は
はどれだけ、恐しく、危険な物かを知ること
ができました。特に、広島原子爆弾により、

14万人もの人がせくなされたこと、

今、世界には、広島原子爆弾より60倍もの
強度を持った原子爆弾があると聞いた時、

とても驚いた気持ちとともに、悲しい

気持ちになりました。池田義三さんの体験談

を聞き、一瞬にしてせくなってしまった遺体を

運ぶ時の哀悼な気持ちは、聞いていて

良くわかりました。

たっただけにして、何万人もの命をなくしてしまう。

原子爆弾は決してあってはならない物です。

そして、この悲惨な歴史は何十年何百年たて

も、忘れなくてはならない物で、しっかりと後世の人に

伝えなくてはならないと思いました。

原爆先生、原爆について、深く教へて

いただき、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生に特別授業を開いてもらう
僕は原爆について知る事ができました
前半は寝てしまいました。後半は
聞いていて原爆が投下された
現地に居た人達約14万人
が亡くなられてしまった
同じ日本人としては悲しい
気持ちでいっぱいです。
そして何万人という人達を
一瞬にしてこぼしてしまったと
いう原爆はこの世には
はらないものです。
今日原爆について教えて
いたいたいたのですがはかばかおじ
いたのは広島に投下された原爆の何十倍
のものがあるのは本当におじりました。
今日原爆について深くお話を聞いた
事ありがとうございます。そして
前半寝てしまって本当にすいませんでした。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

深く反省しています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ためになる授業を本当にありがとうございました。僕はこの授業を受けて泣きそうになりました。そんな事実があったなんて信じられない、信じたくないと考えたからです。そして、今僕達かどれほど幸せな時を過ごしているかと考えるとそれが罪に感じるくらいです。その中から感じたのは生きる喜びと生きることの大切さです。原子爆弾投下によってお亡くなりになられてしまった人達は罪もないのに殺されてしまったのでまたまた生きてかたはすです。そんな人達のために僕達ができることは、幸せを祈り、生きることです。命が絶えるとは真に悲しいことです。そんな悲しみを減らせるように、今生きている一人一人がせいいっぱい生き、命を大切にするように心かけなければいけません。そんなことに気がつきました。先生にとっても

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

感謝しています。